



# ＃2！

校訓：自立・親和・協力  
合言葉：「愛・SUN・三  
～共育spirit～」

長崎市立三和中学校  
令和6年度学校だより No.3  
令和6年5月31日(金)  
文責 校長 赤塚竜造

## 150日間…前進

2024年が始まって150日。学年が一つ上がって、2か月前進！

2024年を迎えて150日間が経ちました。1年生は小学生から中学生に、2・3年生はそれぞれの学年が1年進級して、中堅学年・最高学年となりました。新学年がスタートして2か月経過しましたが、当初の目標や新鮮さは保ち続けているのでしょうか。

「Japan」＝日本→小文字で「japan」と書くと、「漆器・漆」の意味が出てきます。漆器は、日本を代表する工芸品の一つ。中でも輪島塗は、強さと美しさを兼ね備える点が特徴といわれます。元日の能登半島地震では、その職人たちが道具や材料、家を失いました。漆器の工程が100以上に及び、専門の職人たちが分業して生み出す輪島塗。伝統を絶やさぬためには、協力して立ち上がる必要があります。復興への道は険しいですが、先日、あるテレビ番組で職人たちが語っていました。「道具がなくなっても、技術はなくなる」「この仕事を一生続けたい」と。その言葉を聞いて少し涙腺も緩みましたが、希望を捨てず前に進もうとする心を感じました。苦しい時こそ「いよいよ」の決意で立ちあがるのが大事なのだと改めて感じました。能登半島地震から150日。現地の方々は、ライフラインの復旧を待ちつつも日々を必死に生き抜いています。一日も早い復旧・復興を祈りつつ、私たちも今いる場所で、課題はそれぞれ違うかもしれませんが、揺るがぬ信念で歩みをさらに一歩前へ進めていきたいと思えます。

## 5月最大のイベント～体育大会～

雨天延期のため15日(水)に開催。多数のご参観に感謝！



12日(日)開催予定の体育大会でしたが、雨天のために15日(水)に延期して開催いたしました。平日にもかかわらず、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様にご参観いただき感謝いたします。

競技開始にあたり伝統の「巻頭言」を披露。その後、各学級・学年、全種目に全力で取り組みました。「100m走」「全員リレー」は、全学年・全員による出場種目。1年生の「集団行動」「一球入魂」、2年生の「魔法の絨毯」、3年生の「君の縄」、そして2・3年による「三中ソーラン」、全校では「ギネスに挑戦！三中大縄」を実施。競技終了後の後片付けまで全員協力で無事終了することができました。